

2019（令和元）年 11 月 6 日

株式会社北海道日本ハムファイターズ
代表取締役社長 川村 浩二 様

DPI 北海道ブロック会議
議長 我妻 武

北海道ボールパークに関する提案について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

私たち DPI は Disabled Peoples' International の略であり、日本語では「障害者インターナショナル」といい、障害者の「完全参加と平等」をスローガンとした国際障害者年（1981 年）にシンガポールで結成された国際組織です。

そして、1986 年に DPI 日本会議が結成され、DPI 日本会議は、2002 年 10 月に DPI が 4 年に 1 回開催している世界大会を札幌に誘致し、北海道立総合体育センター（北海きたえーる）において 110 の国と地域から 3,113 名の参加者を迎え「なくそうバリア ふやそう心のバリアフリー」をスローガンとして「第 6 回 DPI 世界会議札幌大会」を開催しました。

私たちは、翌 2003 年 10 月にこの大会の成果を継承・発展させるために DPI 日本会議の地方組織として発足し、障害の有無や程度に関わりなく誰もが共に暮らすことのできる北海道創りを進めるための活動を展開してきました。

さて、北海道日本ハムファイターズが地域密着球団として北海道で 2004 年に誕生し、この間、私たち障害者を含む道民とともに歩んで頂いたことは、多くの道民に夢と希望、そして日々の仕事等の疲れを癒す存在として、北海道にはなくてはならない存在となりました。

そして、この度、私たちは、北海道日本ハムファイターズの新たな本拠地として、2023 年の開業に向けて北海道ボールパークプロジェクトが本格的にスタートしたことを知りました。

また、このプロジェクトを進める会社のロゴの右下の七光星は「東の空から登る新たな希望の光」、「新しい未来の幕開けの宣言であり、道民の誇り」の象徴であることも知りました。

つきましては、北海道日本ハムファイターズとその本拠地となる北海道ボールパークが、「北海道にはなくてはならないレガシー」、「年齢や性別及び障害の有無や程度等に関わりなくすべての道民が夢や感動を共有する場」、そして、「世界一のスポーツエンターテインメントを創出する場」となることを祈念して、以下のとおり要望するので、ご検討と実現に向けて取り組み頂けるようお願い申し上げます。

なお、参考のため「Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン」と「2020 東京オリ・パラ競技施設のユニバーサルデザインに関する提言（第一次提言）」を同封 CD のとおり提出いたします。

敬具

記

1. 高齢者、障害者、子ども及び子どもを連れた方も含め、誰もが安全、安心、そして不便なく自由に利用できるユニバーサルデザインに基づく施設や機能を整備・充実してください。
2. 整備・充実に当たっては、北海道福祉のまちづくり条例等の関係法令が定めた基準だけではなく、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの競技場の整備基準「東京 2020 アクセシビリティ・ガイドライン」や、基本設計から多様な障害当事者の意見を反映させた新国立競技場のユニバーサルデザインワークショップ（UD/WS）の取組みを参考としてください。
3. 北海道ボールパークプロジェクトは、幅広い道民への周知と広報及び意見や希望を聞く場を設けるなど、多くの道民とともに進めてください。

DP I 北海道ブロック会議

〒063-0814 札幌市西区琴似4条5丁目2-20-901

TEL:011-633-5055 FAX:011-676-5231

E-mail : info.hokkaido@dpi-japan.org

URL : <http://www.dpi-japan.org/hokkaido>